指導計画・評価計画　第１学年

◎ 中心的指導事項　○ 関連的指導事項　＊ 評価の観点　◇ 総合的な学習の時間との関連

〈学年目標〉	学期	第１学期				第２学期				第３学期		
	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
(1)　音楽活動の楽しさを体験することを通して，音や音楽への興味・関心を養い，音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 (2)　音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り，基礎的な技能を身に付け，創造的に表現する能力を育てる。 (3)　多様な音楽に興味・関心をもち，幅広く鑑賞する能力を育てる。	題材											
	主な教材											

指導内容	総時数	時数	第１学期				第２学期				第３学期		
表現	ア 歌詞の内容や曲想を感じとって，歌唱表現を工夫すること。												
表現	イ 曲種に応じた発声により，言葉の表現に気をつけて歌うこと。												
表現	ウ 楽器の基本的な奏法を身につけ，美しい音色を工夫して表現すること。												
表現	エ 声部の役割を感じとり，全体の響きに気をつけて合唱や合奏をすること。												
表現	オ 短い歌詞に節づけしたり，楽器のための簡単な旋律をつくったりして，声や楽器で表現すること。												
表現	カ 表現したいイメージや曲想をもち，様々な音素材を用いて自由な発想による即興的な表現や創作をすること。												
表現	キ 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを感じとって表現を工夫すること。												
表現	ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じとって表現を工夫すること。												
鑑賞	ア 声や楽器の音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想を感じとって聴くこと。												
鑑賞	イ 速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じとって聴くこと。												
鑑賞	ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から，音楽の多様性を感じとって聴くこと。												
鑑賞	エ 音楽をその背景となる文化・歴史や他の芸術とのかかわらせて聴くこと。												

評価	評価の観点	観点の趣旨	第１学期				第２学期				第３学期		
評価	音楽への関心意欲・態度	音楽に親しみ，音楽を進んで表現し，鑑賞しようとする。											
評価	音楽的な感受や表現の工夫	音や音楽のよさや美しさを感じ取りそれらを音楽活動のなかで創意工夫し生かしている。											
評価	表現の技能	音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。											
評価	鑑賞の能力	音楽を楽しく聴取，鑑賞し，そのよさや美しさを味わう。											
総合的な学習の時間との関連													

指導計画・評価計画　第２学年

◎ 中心的指導事項　○ 関連的指導事項　＊ 評価の観点　◇ 総合的な学習の時間との関連

〈学年目標〉

(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して，音や音楽への興味・関心を高め，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。

(2) 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り，表現の技能を伸ばし，創造的に表現する能力を育てる。

(3) 音楽に対する総合的な理解を深め，幅広く鑑賞する能力を高める。

学期	第１学期				第２学期				第３学期		
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
題材											
主な教材											

	指導内容	総時数	時数										
表現	ア 歌詞の内容や曲想を味わい，曲にふさわしい歌唱を工夫すること。												
	イ 曲種に応じた発声により，美しい言葉の表現を工夫して歌うこと。												
	ウ 楽器の特徴を生かし，曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現すること。												
	エ 声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合唱や合奏をすること。												
	オ 歌詞にふさわしい旋律や楽器の特徴を生かした旋律をつくり，声や楽器で表現すること。												
	カ 表現したいイメージや曲想をもち，様々な音素材を生かして自由な発想による即興的な表現や創作をすること。												
	キ 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを理解して表現を工夫すること。												
	ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。												
鑑賞	ア 声や楽器の音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想とのかかわりを理解して楽曲全体を味わって聴くこと。												
	イ 速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される曲想の変化を理解して聴くこと。												
	ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から，音楽の多様性を理解して聴くこと。												
	エ 音楽をその背景となる文化・歴史や他の芸術とのかかわりなどから，総合的に理解して聴くこと。												

	評価の観点	観点の趣旨	第１学期				第２学期				第３学期		
評価	音楽への関心意欲・態度	音楽に親しみ，音楽を進んで表現し，鑑賞しようとする。											
	音楽的な感受や表現の工夫	音や音楽のよさや美しさを感じ取りそれらを音楽活動のなかで創意工夫し生かしている。											
	表現の技能	音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。											
	鑑賞の能力	音楽を楽しく聴取，鑑賞し，そのよさや美しさを味わう。											
総合的な学習の時間との関連													

指導計画・評価計画　第３学年

◎ 中心的指導事項　○ 関連的指導事項　＊ 評価の観点　◇ 総合的な学習の時間との関連

〈学年目標〉

(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して，音や音楽への興味・関心を高め，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。

(2) 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り，表現の技能を伸ばし，創造的に表現する能力を育てる。

(3) 音楽に対する総合的な理解を深め，幅広く鑑賞する能力を高める。

学期	第１学期				第２学期				第３学期		
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
題材											
主な教材											

	指導内容	総時数	時数										
表現	ア 歌詞の内容や曲想を味わい，曲にふさわしい歌唱を工夫すること。												
	イ 曲種に応じた発声により，美しい言葉の表現を工夫して歌うこと。												
	ウ 楽器の特徴を生かし，曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現すること。												
	エ 声部の役割を生かし，全体の響きに調和させて合唱や合奏をすること。												
	オ 歌詞にふさわしい旋律や楽器の特徴を生かした旋律をつくり，声や楽器で表現すること。												
	カ 表現したいイメージや曲想をもち，様々な音素材を生かして自由な発想による即興的な表現や創作をすること。												
	キ 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きを理解して表現を工夫すること。												
	ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。												
鑑賞	ア 声や楽器の音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想とのかかわりを理解して楽曲全体を味わって聴くこと。												
	イ 速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される曲想の変化を理解して聴くこと。												
	ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から，音楽の多様性を理解して聴くこと。												
	エ 音楽をその背景となる文化・歴史や他の芸術とのかかわりなどから，総合的に理解して聴くこと。												

	評価の観点	観点の趣旨	第１学期				第２学期				第３学期		
評価	音楽への関心意欲・態度	音楽に親しみ，音楽を進んで表現し，鑑賞しようとする。											
	音楽的な感受や表現の工夫	音や音楽のよさや美しさを感じ取りそれらを音楽活動のなかで創意工夫し生 かしている。											
	表現の技能	音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。											
	鑑賞の能力	音楽を楽しく聴取，鑑賞し，そのよさや美しさを味わう。											
総合的な学習の時間との関連													